

アートで 福祉ボランティア しませんか

「アートの力をケアに活かした共生社会づくり」

造形

色と形で描く

高齢社会を心も体も健康で寿命を全うしようという、地域ぐるみの活動が活発になっています。
<身体>に気を配り運動をするように、介護予防から認知症ケアまで、<心>の解放が求められています。

アーティストと一緒に
高齢者施設へ行こう！

アートボランティア 養成講座参加者 募集

募集期間

2018年

7月1日(日)～8月15日(水)

歌を作って奏でる

音楽

体を動かして表現する

ダンス

この講座は、アーティストによるワークショップで、高齢者に楽しい体験をしていただくようにサポートするアートボランティア養成講座です。

アートボランティア >>> アーティストと高齢者の皆さんをつなぎ、ワークショップの内容に沿った準備や実施時の皆さんへの声かけなど、ワークショップの質を高める上で欠かせない役割です。

アーティスト&ワークショップ紹介



藤原 ゆみこ
(日本画家)

東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業、同大学院美術研究科修了。1987年アトリエ・プラン主宰。2001年より美術表現講座講師としても医療法人社団いばらき会・介護施設など多方面で活動

<造形> 「わたしの手」

長年の苦楽を共にしてきた愛おしい自分の手。その手の輪郭を画用紙の上で何度もなぞり、好きな色を塗り重ねると、その人だけの色と形をもった思いもかけない作品が出来上がります。

アートボランティアの役割：

お話ししながら参加者の思い出や発見を共有しましょう



即興からめーる団
(音楽ユニット 赤羽美希+正木恵子)

赤羽美希：東京藝術大学大学院応用音楽学専攻修了/正木恵子：日本大学芸術学部音楽学科打楽器専攻卒業。2006年より「うたの住む家」プロジェクト(港区、墨田区)、港区ふれあいアートなどワークショップ企画や演奏活動を展開 <http://improkaramer.blogspot.jp>

<音楽> つくって歌おう！

一人ひとりがつぶやく何気ない言葉と、鼻歌のような小さなメロディーのアイデアから、驚くようなオリジナル・ソングが生まれます。その時そこに集まった人たちの思い出に残る歌になります。

アートボランティアの役割：

発言をサポートし声を届ける仲介役になりましょう



竹中 幸子
(身体表現)

お茶の水女子大学文教育学部表現体育学専攻卒業。2000年より障害のある方を含むコミュニティーダンスグループ「ベストプレイス」を立ち上げる <http://bplace2000dance.wixsite.com/bestplace>

ゆっくりダンス！ <ダンス> からだで遊ぶ！

無理のないありのままの動きを表現として認め合うと、いつの間にか不思議なダンスが創り出されます。安心感や自己肯定感を感じながら、一緒にイメージをふくらませて自由に身体を動かします。

アートボランティアの役割：

動くことを楽しみ、肯定しあえる関係をつくりましょう